



銚子水産事務所

中川 雄太

平成27年度入庁

Q 1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

普及指導員として、海匝・九十九里地域を担当しています。そこで主に漁獲されるチョウセンハマグリの資源管理や漁業の担い手対策、水産物のブランド化などに関する業務に携わっています。

普及指導員の仕事は、直接現場に出向き漁業者の方々と一緒に取り組むことが多く、楽しくて魅力のある仕事です。一緒に取り組むなかで「ありがとう」の声を聞いたときは、役に立っていることが実感でき、やりがいを感じます。

Q 2 千葉県を志望した理由を教えてください。

小さいころから海が好きで、将来は水産に関わる仕事に就きたいと考えました。魚や海に関わる職業というと、漁師を初めに思い浮かべますが、私はそういった方々のサポートをしたいと考えたため、水産職の公務員を目指しました。

千葉県を志望したのは、三方を海に囲まれた全国でも有数の水産県であり、生まれ育った千葉県の水産業をもっと盛り上げたいと考えたからです。

Q 3 「水産職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

まず何よりも現場に出て漁業者や漁協職員の方々と実際に会って話をすることです。メールなど様々な通信手段がありますが、現場に足を運んで直接話をしなければ、スムーズに話は進みません。

顔を合わせてコミュニケーションをとることを第一に考えて働いています。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

漁業者や水産加工業者等、水産に関わる多くの方々と一緒に仕事をして、強い信頼関係を築くことが目標です。

今年開催される東京2020オリンピック・パラリンピックでは、千葉県も一部会場になっているため、これを機に千葉県の水産物を世界に向けてPRするような仕事に取り組んでみたいと思います。

Q 5 受験生へ一言

千葉県は多種多様な水産資源に恵まれ、水産業は県の中でも重要な産業です。千葉県の水産業を盛り上げるために、一緒に頑張りましょう。



異動経歴

H27年採用 水産総合研究センター
H30年 銚子水産事務所